

## 平成 21 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	非コードRNA作用マシナリー
領域代表者名	泊 幸秀（東京大学・分子細胞生物学研究所・准教授）
研究期間	平成 21 年度～ 25 年度
<b>【科学研究費補助金審査部会における所見】</b> 本研究領域は、非コード RNA の作用機構の素過程を明らかにすることを目的としている。非常に注目され世界的な競争も激しい分野であり、新学術領域研究（研究領域提案型）の目的に合致している。また、若手研究者による意欲的な提案であることも評価される。領域代表者は当該分野で高い実績をあげており、今後の着実な研究の進展が期待される。小分子 RNA と高分子非コード RNA 研究間の連携が明確ではないが、領域代表者のリーダーシップによって有機的な連携が進み、新しい展開があることを期待したい。激化する世界的な競争に対応するためには、さらに非コード RNA の作用機構の素過程の解明に焦点を絞った領域構成が有効と考えられる。また平成 20 年度に新学術領域研究（研究領域提案型）に採択された「RNA 制御学」領域と相互に連携することでさらなる発展が期待できるものと考えられる。急激な研究の進展に対応する為に、日本でも領域を形成して積極的に支援すべき課題であり、本領域研究によって日本における非コード RNA 分野の進歩が期待される。	